

# 国管理河川の減災に係る取組状況について





新釧路川（国管理区間）の洪水浸水想定区域図公表を受け、釧路市では広域避難を考慮したハザードマップを作成し平成29年3月に住民へ周知。

### すばやく避難行動を取るために

洪水による被害の発生が予想される場合に、市内避難所から避難区域（浸水想定区域）へ一時避難し、安全な場所へ移動して、すばやく避難行動をとるべきです。

避難準備 避難指示（緊急）の発令時

避難準備	避難指示（緊急）
避難準備は、浸水想定区域図に基づき、浸水が予想される区域に避難指示（緊急）が発令される前に、避難所へ避難し、避難行動をとるべきです。	避難指示（緊急）が発令された場合は、浸水想定区域図に基づき、浸水が予想される区域に避難指示（緊急）が発令された後に、避難所へ避難し、避難行動をとるべきです。

**避難施設の開設状況などの詳しい情報は、FMくしろ（76.1MHz）で聴くことができます。**

## 新釧路川洪水ハザードマップ

### 釧路市防災マップ

**新釧路川洪水ハザードマップについて**

近年全国において大雨等による水害が多発しており、各地で甚大な被害が発生しています。国では平成27年11月に「水防法」を改正し、浸水想定等を地域住民に周知することを義務付けました。このハザードマップは、北海道開発局より公表された「釧路川水系洪水浸水想定区域図（平成28年6月）」に基づき作成されています。

なお国が示した想定では、想定し得る最大規模の流量（新釧路川が洪水となる流量：大正9年に発生した洪水の流量1,200m<sup>3</sup>/sの約1.75倍となる流量で2,100m<sup>3</sup>/s）でシミュレーションされており、その際に堤防が決壊し、氾濫した場合の浸水想定区域図です。

また、新釧路川の洪水以外に、高瀬や中小河川による氾濫を考慮していないことから、この浸水区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合があります。想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。避難場所については、釧路市における指定避難施設のうち、機能と浸水を考慮して掲載しています。

### 指定避難施設（駅前地区）

施設名	施設種別	施設所在地	施設面積	施設内容
釧路駅前	避難所	釧路市駅前	1,200㎡	避難所
...	...	...	...	...

### 着色された色の見方

赤色	5.0以上の浸水
オレンジ色	3.0～5.0m程度の浸水
黄色	0.5～3.0m程度の浸水
緑色	0.5m程度の浸水

■マップ上に着色された色は、それぞれの地点の最大の浸水深を示しています。■この色は地形の凹凸や建物の大きさや浸水深との関係を示しています。

### 新釧路川洪水時の避難施設の開設について

■マップ上に掲載された施設を優先的に開設します。■状況によっては掲載以外の避難施設も開設する場合があります。

1 : 10,000 (縮尺)

平成29年3月発行 新釧路市防災管理課 課31-4207

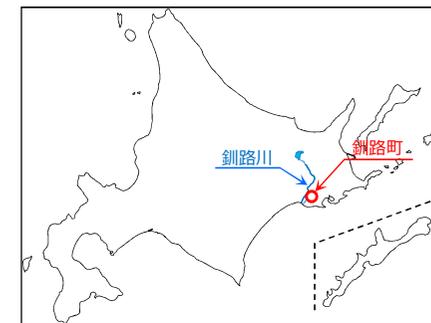
（釧路市の取組事例）

# 防災教育等の充実①

## 避難所運営ゲーム「D○はぐ」を通じて災害時の対応などを学びました。

### ◆避難所ではどんな生活が待ち受けているのでしょうか？

災害が発生し被災者として避難所に向かったが、避難所では運営側として行動しなければならない可能性も考えられます。  
様々な状況で集まった住民による避難所での生活は、何が起こるか分からず対応もむずかしいですが、事前に学習や訓練する事により、対応は全く変わってきます。



### ※避難所運営ゲーム（HUG）

避難所を運営するにあたり、様々な事象への対応をカードゲームとして疑似体験することで、自らの備えや地域の防災対策の課題を見つけやすくする目的で活用。「D○はぐ」は北海道ならではの積雪寒冷の観点や、東日本大震災の教訓を付加した避難所運営ゲーム（HUG）。静岡県が開発したHUGを北海道版として北海道が作成。

今回の研修は、冬季に低気圧による大雨により釧路川が氾濫危険水位まで達し住民が避難したという想定で、地域住民と釧路東高校生徒会との共同で5つのグループに分かれ、避難所の図面を基に始めに本部の設置位置、次に通路の確保や物資の置き場所を決定したあとカードに書かれた家族構成、病気やペットの有無について確認し、場所の選定について話し合いました。

その後、各グループごとの内容発表を行い、事前に準備した炊出しを試食し終了しました。

- ・ 釧路町 地域づくりセミナー 避難所運営ゲーム(HUG)研修会（主催：釧路町）
- ・ 平成28年12月4日（日） 釧路町コミュニティーセンター
- ・ 地域住民、釧路東高校の生徒ら約40人によるHUG実習

（釧路町の取組事例）

# 防災教育等の充実②

平成28年9月23日（金） 標茶町立標茶小学校 第6学年（児童数57人）

◆平成28年8月の大雨により、標茶町市街地を貫流する釧路川では標茶水位観測所にて戦後最大である昭和35年3月洪水に次ぐ2番目の水位を記録しました。多くの児童が釧路川の増水状況を経験した標茶小学校において釧路川の減災を考える防災教育を実施しました。

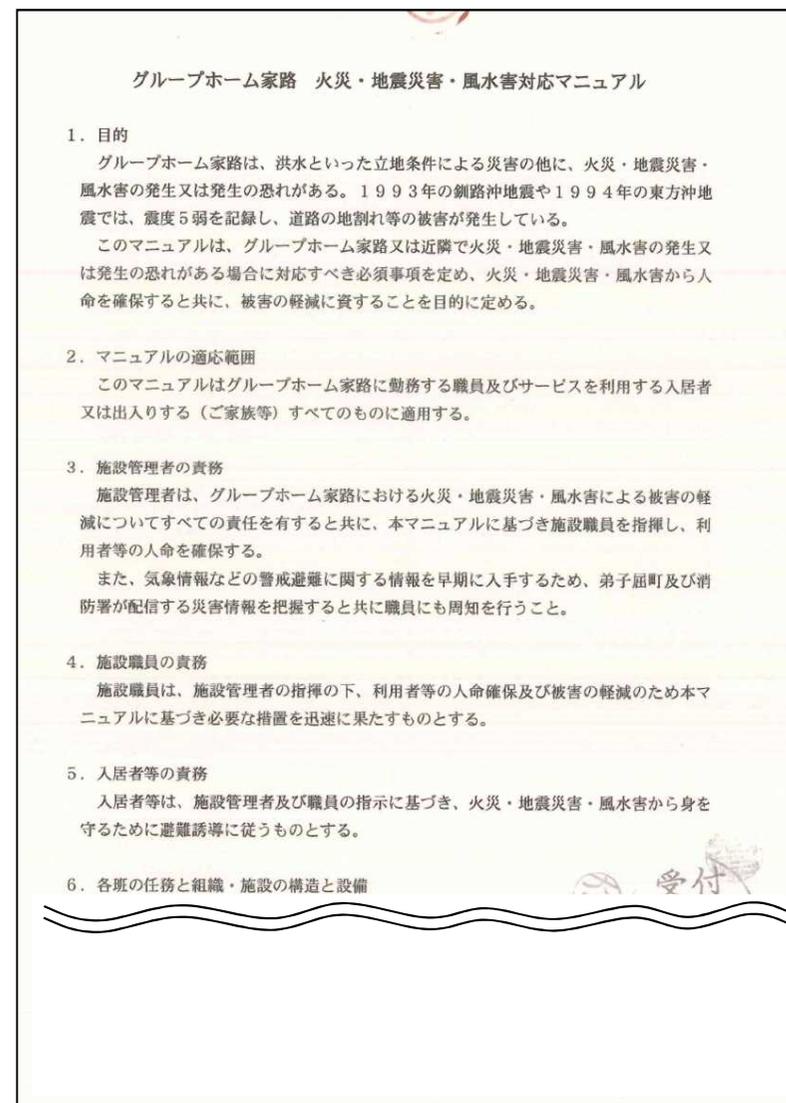
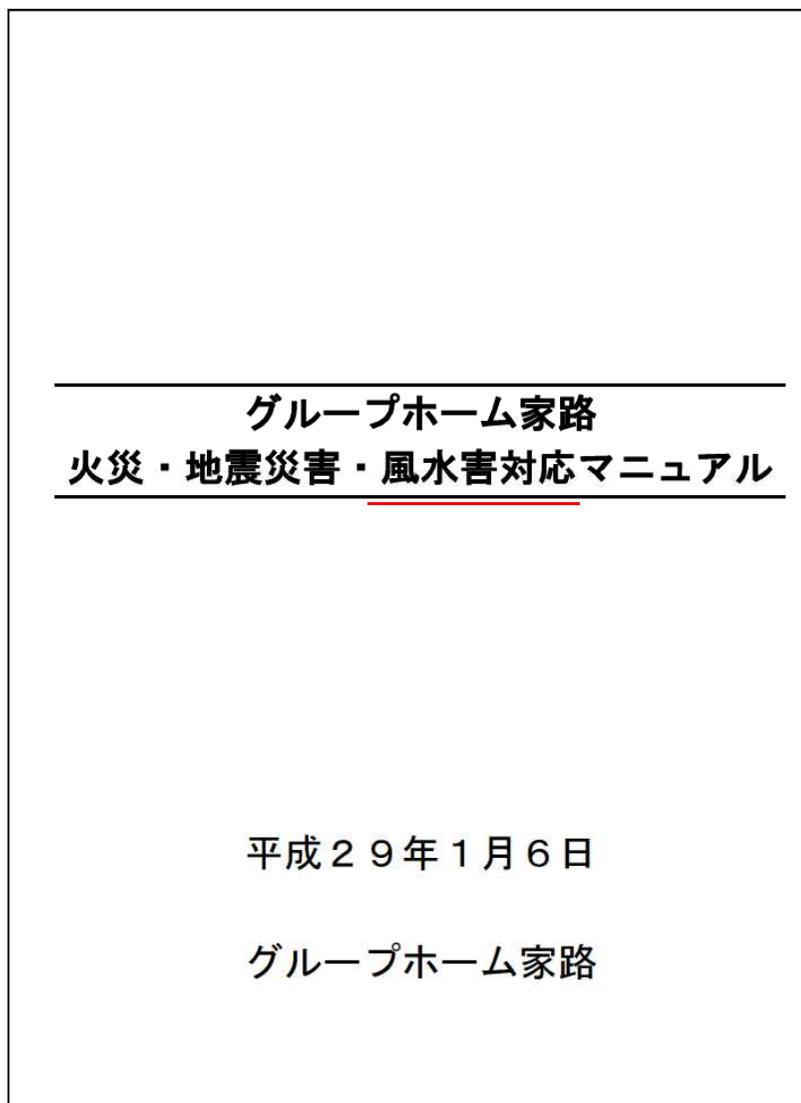


「大雨が降ったときにとるべき行動」について、班ごとに意見を出し合い、命を守る行動を学びました。

（標茶町の取組事例）

# 要配慮者利用施設の避難計画の作成

施設の状況を確認し、避難場所等の確保・訓練等に関する取組を推進  
洪水時の避難促進施設の避難計画の策定（H29年3月）



（弟子屈町の取組事例）

# 関係機関及び地域住民を対象とした訓練

- ◇釧路根室管内2市10町1村、北海道、各防災機関、及び地域住民等の参加を得て標茶町と釧路市の2会場において「平成29年度釧路川総合水防演習・広域連携防災訓練」を実施。
- ◇北海道内初の試みとなる地震・津波を想定した河川・港湾事業者が広域的に連携して防災訓練を実施。

平成29年6月17日（土） 参加人数：演習会場 約1,450人、サテライト会場 約180人 計 約1,630人



住民避難訓練の様子（演習会場）



水防工法訓練の様子：木流し工（演習会場）



水防工法訓練の様子：月の輪工（演習会場）



漂流者捜索・救助訓練の様子（サテライト会場）

釧路川の減災に係る取組方針 フォローアップ

目標	取組事項	具体的取組	進捗達成度（上段：目標、下段：進捗）					取組主体	備考
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
ハード対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策	河道掘削の実施						振興局 釧路開建	
	危機管理型ハード対策	堤防天端の保護（越水等が発生した場合でも決壊までの時間を少しでも引き延ばす対策）						釧路開建	
	避難行動、水防活動、排水活動に資する木盆等の整備	① 住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供のシステム構築						釧路開建	
		② 洪水予報等をプッシュ型で情報発信するためのシステム構築						釧路開建	平成29年5月1日から、洪水情報のプッシュ型配信を開始
		③ 避難行動要支援者等に配慮し、防災ラジオ等の活用を検討						釧路市 釧路町 標茶町 弟子屈町	
		④ 水害リスクの高い地区に対して、洪水時の避難勧告等の発令判断に活用する水位計の整備						釧路開建	
⑤ 水防活動を迅速化できるよう既存土のうステーション等の資材を補充						釧路市 釧路町 標茶町 弟子屈町			
情報伝達、避難計画等に関する取組	① 避難勧告等の発令に着目したタイムラインの精度向上を図る						釧路市 釧路町 標茶町 弟子屈町 振興局 気象台 釧路開建	避難勧告着目型タイムラインの作成（全市町村） 今後は、例年実施している防災訓練や実対応で運用し、必要な改善を実施	
	② わかりやすい洪水予報伝文への改良や気象情報発信時の表示を改善						気象台 釧路開建		
	③ 市町村の避難勧告等の判断・伝達マニュアルの作成						釧路市 釧路町 標茶町 弟子屈町 鶴居村	作成に向けて検討中	
	④ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた地域防災計画の更新、長期化する浸水に対する避難受入体制等の検討						釧路市 釧路町 標茶町 弟子屈町	地域防災計画の更新に向けて検討	
	⑤ 避難行動要支援者利用施設における避難場所の確保・訓練等に関する取組を促進						釧路市 釧路町 標茶町 弟子屈町	H29.3に釧路管内要配慮者利用施設の管理者等への説明会を開催 H29.3弟子屈町内の要配慮者利用施設にて避難計画を作成	

釧路川の減災に係る取組方針 フォローアップ

目標	取組事項	具体的取組	進捗達成度（上段：目標、下段：進捗）					取組主体	備考
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
迅速かつ確実な避難のための避難行動に関する取組		⑥ 円滑な避難・氾濫後の復旧のための道路管理者との連携		道路関係者との防災連絡会議に参加				釧路市 釧路町 標茶町 弟子屈町 鶴居村 振興局 釧路開建	道路管理者との連携会議を実施 今後、避難経路等を検討
	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する取組	① 想定最大規模も含めた浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表		国管理河川を公表、道管理河川は継続検討				振興局 釧路開建	河川管理者で、釧路川及び新釧路川の国管理区間の想定最大規模の浸水想定区域図を作成、周知（H28.6）
		② 想定最大規模も含めた浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知		釧路市公表				釧路市 釧路町 標茶町 弟子屈町	釧路市において新釧路川の想定最大規模の洪水に係るハザードマップを作成・周知（H29.3）
		③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたまるとまちごとハザードマップの更新に向けた検討		済み（今後、想定規模に基づく更新を検討）				標茶町 釧路開建	
		④ 観光客や市町村外への通勤、通学等の住民に対する平時及び発災時の効率的な情報発信方法の検討を行う。		検討を進める				釧路市 釧路町 標茶町 弟子屈町 鶴居村 振興局 釧路開建	
		⑤ 釧路川の特徴を踏まえた幼少期からの防災教育の継続実施及び拡充		標茶町で実施（引き続き実施し、取組を拡大予定）				釧路市 釧路町 標茶町 弟子屈町 鶴居村 振興局 気象台 釧路開建	出前講座を中心とした防災教育の実施 H28.8出水で避難行動を体験した児童らの通う標茶町内の小学校において、命を守る行動を学ぶ防災教育を実施
		⑥ 関係機関及び地域住民を対象とした水防災に関する講習会や研修の実施、自主防災組織等の住民意識向上など効果的な対応を検討		例年実施している訓練の継続、総合水防演習の実施				釧路市 釧路町 標茶町 弟子屈町 鶴居村 振興局 釧路開建	H29.6釧路川総合水防演習・広域連携防災訓練を実施
		⑦ 住民の水防災意識啓発のための広報の充実（ホームページ内の水害リスク情報や減災の取組等の関連情報を一元的に情報発信し、関係機関のホームページからアクセスし易くする等）		済み（引き続き関係機関に拡大）				釧路市 釧路町 標茶町 弟子屈町 鶴居村 釧路開建	減災の取組に関する情報を釧路開発建設部ホームページにて情報共有

釧路川の減災に係る取組方針 フォローアップ

目標	取組事項	具体的取組	進捗達成度（上段：目標、下段：進捗）					取組主体	備考
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
		⑧ 釧路川流域市町村間での防災・減災に係る情報の共有手段						釧路市 釧路町 標茶町 弟子屈町 鶴居村	釧路管内8市町村防災基本協定の継続
長時間続く洪水、広範囲にわたる浸水被害から社会経済被害を軽減するための的確な水防活動・早期復旧のための取組	水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組	① 重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水防団や住民が参加する共同点検を実施						釧路市 釧路町 標茶町 弟子屈町 鶴居村 振興局 気象台 釧路開建	H29以降、水防団（消防団）や関係者（建設会社含む）が参加する共同点検を実施予定
		② 的確な水防活動を実施するべく、水防資材の充実、維持や関係機関との情報共有						釧路市 釧路町 標茶町 弟子屈町 鶴居村 振興局 釧路開建	水防資材の保有状況等について、釧路川水防連絡協議会や減災対策協議会幹事会にて情報共有を図っている
		③ 関係機関と連携した水防訓練						釧路市 釧路町 標茶町 弟子屈町 鶴居村 振興局 釧路開建	H29.6釧路川総合水防演習・広域連携防災訓練を実施 タイムラインを活用した訓練の実施に向けた調整
	氾濫水の排水活動及び施設運用に関する取組	① 排水ポンプ車等の実動訓練の実施や、出動要請に係る関係機関との調整方法の確認						釧路市 釧路町 標茶町 弟子屈町 鶴居村 振興局 釧路開建	実動訓練へ関係機関が参加
		② 長年にわたる浸水に対する効率的な排水に向けた検討						釧路市 釧路町 標茶町 弟子屈町 釧路開建	検討を進める